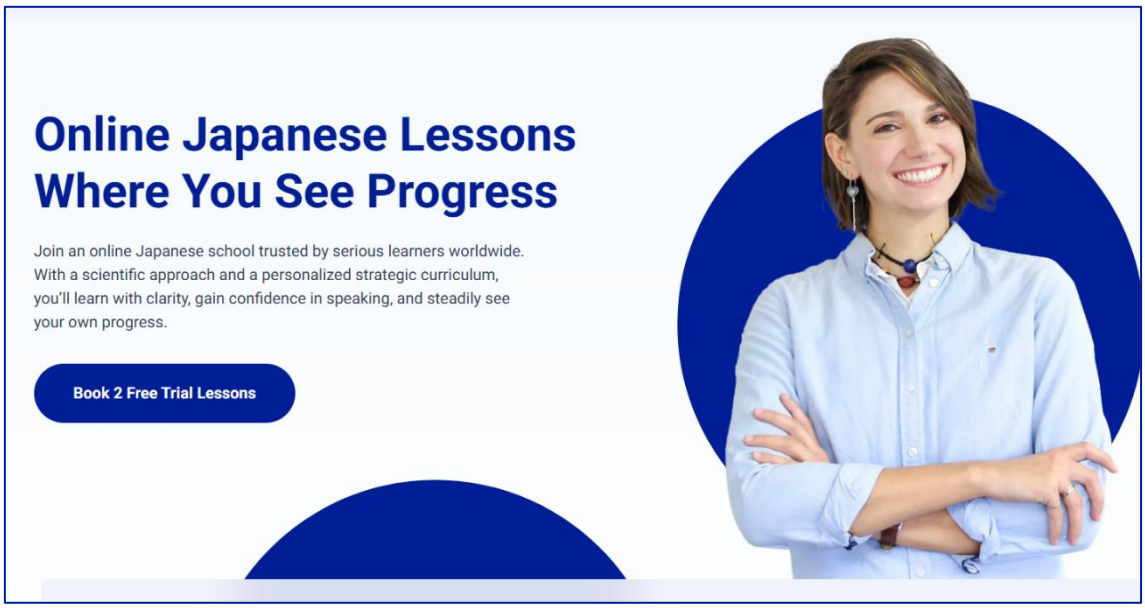
November16, 2026

選考ガイド（オンライン日本語教師［非常勤講師］）

Akira Online Japanese School TOKYO



教えるプロから、成果を出せるプロへ――。

私たちと一緒に、経歴書に書けるプライベートレッスンの実績を作っていきませんか。プロフェッショナル志向の強い日本語教師の方、ご応募お待ちしています。

０．そもそも採用・選考とは

企業は、ターゲットとなる顧客に対し、競合他社とは異なる独自のサービス提供を行っています。そのため、市場での自社の立ち位置をよく理解し、当該サービス提供を行える可能性の高い方を採用したいと考えています。また、選考を通して、そうした可能性の高い方を見極めたいと考えています。

企業がなぜ採用・選考を行うのか、上記ロジックをよく理解し、各選考プロセスの目的・目標を踏まえたコミュニケーション・アウトプットを行うと、採用される可能性が高くなります。まずは「募集要項」をよく読み、以下図式に当てはめて考えてみましょう。

――

●図式

・コアターゲット→独自サービス→業務→知識・スキル→人材像→選考⇔求職者

――

Cf.「募集要項」
https://akiraojs.tokyo/assets/img/recruitment/guideline.pdf

１．選考プロセスのポイント

（１）筆記試験

①概要

・「教えるプロ」としてのベーシックの有無に加え、Akira の講師として必要な論理的に理解する力・考える力・説明する力を評価します。
・書類選考を通過された方にお願いをしています。スムーズな方だと 50 分以内に解答できる内容ですが、じっくり時間をかけて取り組んで頂いても OK です。
・穴埋め式の問題がメインですが、記述式の問題も出題しています。書けるということは、簡潔にわかりやすく説明できるということの代替指標になると考えています。論理的に理解する力・考える力・説明する力を評価します。
・次の選考ステップである一次面接において、解答内容及び出題意図についてディスカッションを行います。P1 の図式を参考に予め考えておくとスムーズです。

②「教える」パート（40 点/50 点）

・N4/N5 レベルの語彙について、適切に説明できるかを評価します。
・N4/N5 レベルの文法形式で組み立てられた文について、文法用語を使って説明できるか。適切に文法書等を使って調べられるかを評価します。
・N4/N5 レベルの会話について、ミクロ･マクロの観点から、適切に説明できるかを評価します。
・出題範囲は、『みんなの日本語 初級１・2』「本冊」「教え方の手引き」（第 2 版）、『考えて、解いて、学ぶ　日本語教育の文法』からとします。
・「教えるプロ」としてのベーシックを問う内容のため、経験者の方は 90%以上（36 点以上/40 点）、未経験の方も 70%以上（28 点以上/40 点）の得点率を求めます。

Cf.『考えて、解いて、学ぶ　日本語教育の文法』
https://amzn.asia/d/gS8kpqx

③「成果を出す」パート（10 点/50 点）

・各種フレームワーク・トレーニング手法について、正しく理解できるか、正しく使えるか、目的・目標から逆算してレッスンを考えていけるかを評価します。
・オンライン採用説明会の中で触れた内容を基に出題しています。

（２）模擬授業

①概要

・「教えるプロ」としてのベーシックの有無を実践ベースで評価します。
・Akira のプライベートレッスンを追体験して頂く内容になっています。
・教材分析、文法分析、会話分析、レッスン設計のスキルがあることを前提に、反転授業として機能させられるか、確認します。
・受講生の予習精度・産出レベルを基に、その場で目標修正→内容・時間配分の再構成が出来るか、確認します。

２.「教えるプロ」としてのベーシック

ここでは文法分析と会話分析について、それぞれどのようなレベルを求めているのか、例示します。まず、以下の問題を解いてみましょう。いずれも N4/N5 レベルの文とダイアログを分析対象としています。次に、問題の出題意図について考えてみましょう。解答については、P12 以降をご覧ください。

（１）文法分析

①活用形の体系

・Q1.以下の品詞の活用形について、『みんなの日本語 初級１・2』（第２版［以下同様］）のどの課で扱うか、半角数字で答えてください。尚、形容詞の基本形という呼称については、便宜上、「美しい」「静か」といった形を指すものとします。

・動詞：

丁寧形： a（　）課
非過去肯定形
非過去否定形
過去肯定形
過去否定形

普通形：
非過去肯定形（辞書形）：b（　）課（c（　）課）
非過去否定形（ない形＋ない）：bbb 課（d（　）課）
過去肯定形（た形）：bbb 課（e（　）課）
過去否定形（ない形＋なかった）：bbb 課

て形：f（　）課

・形容詞：
　　叙述用法：
　　　　丁寧形：
　　　　　　非過去肯定形：g（　）課
　　　　　　非過去否定形：ggg 課
　　　　　　過去肯定形：h（　）課
　　　　　　過去否定形：hhh 課
　　　　普通形：bbb 課
　　　　　　非過去肯定形（辞書形）
　　　　　　非過去否定形（ない形＋ない）
　　　　　　過去肯定形（た形）
　　　　　　過去否定形（ない形＋なかった）
　　修飾用法：
　　　　連体形：i（　）課
　　て形：j（　）課
　　*基本形：k（　）課

・名詞＋だ（名詞述語）：
　　丁寧形：
　　　　非過去肯定形：l（　）課
　　　　非過去否定形：lll 課
　　　　過去肯定形：m（　）課
　　　　過去否定形：mmm 課
　　普通形：bbb 課
　　　　非過去肯定形（辞書形）
　　　　非過去否定形（ない形＋ない）
　　　　過去肯定形（た形）
　　　　過去否定形（ない形＋なかった）
　　て形：n（　）課
――

②日本語文の特徴・構造

〇単文

・Q1.＜N5＞以下の文の下線部について、成分名を答えてください。

――

a 井上さんには　b 子どもが　c 二人　d います。

成分名：a（　　）・b（　　）・c（　　）・d（　　）
――

・Q2.＜N5＞以下の文の下線部について、助詞の用法を答えてください。また文型を答えてください。尚、ここでの文型とは、述語と必須成分を示す格助詞の組み合わせのことを言います。述語は辞書形で答えてください。
――

ニュースは　何 e で　読んで　いますか。

助詞の用法：e（　　）
文型：f（　　）
――

・Q3.＜N5＞以下の文について、主題化が生じる前の文を答えてください。
――

高橋さん、もう　メールは　送りましたか。

主題化が生じる前の文：g（　　）
――

・Q4.＜N5＞以下のやりとりの下線部について、省略が生じる前の文を答えてください。
――

A　　すみません。パソコンの　モニターは　どこに　ありますか。
B　　あそこです。

省略が生じる前の文：h（　　）
――

・Q5.＜N4＞以下の文の述語について、下線部の組み立てについて検討します。それぞれ『みんなの日本語 初級 1・2』で導入される文法形式に分解した場合、いくつの要素から成り立っていますか。半角数字で答えてください。但し、動詞、形容詞、名詞＋だ（名詞述語）、助詞単体での用法については、除外して考えるものとします。

木下さん、新幹線の　チケットを　予約して　おいて　くれる？

要素の数：i（　）

〇複文

・Q6.＜N4＞以下の文の従属節の数を答えてください。

雨が　降ったら　危ないですから、山へ　行くのは　止めましょう。

従属節の数：j（　）

---

③新出の文法形式と既習の文法形式との違い

・Q1.＜N4/N5＞以下の下線部について、『みんなの日本語 初級１・2』のどの課で扱うものか、半角数字で答えてください。

A　　鈴木さんは　9 月に　休みを　取ろうと　思って　います。：a（　）課
B　　高橋さんは　毎朝　ヨーグルトを　食べて　います。：b（　）課
C　　井上さんは　メッシの　サインを　持って　います。：c（　）課
D　　小林さんは　ミラーさんと　会議を　して　います。：d（　）課

・Q2.＜N5＞以下の文のペアについて、ニュアンスの違いを説明してください。

A1　　夫に　部屋の　掃除を　して　もらいました。
A2　　夫が　部屋の　掃除を　して　くれました。

・Q3.＜N4＞以下のやりとりについて、B1 と B2 のニュアンスの違いを説明してください。

A　　コーヒーは　いかがですか。
B1　　すみません、コーヒーは　あまり　好きじゃないですから。

B2　　すみません、コーヒーは　あまり　好きじゃないんです。

・Q4.＜N4＞次の文の誤用について、説明してください。

天気予報によると、雨が降りそうです。

---

④英語文にならないニュアンスの違い

・Q1.以下の文のペアについて、ニュアンスの違いについて説明してください。

A1　　どうしましたか。
A2　　どうしたんですか。

---

⑤出来るようになること

・Q.以下の学習項目を習得することで何が出来るようになるか､説明してください。会話での使用を念頭に答えてください。

A　　人が主語で述語が非過去の動詞文
B　　事物が主語で述語が過去の形容詞文

（２）会話分析

①レッスンポイント

〇マクロの精読

・何を行うタスクなのか、発問→解説する。また同タスクの成功確度を上げるために、どのように会話を組み立てているのか発問→解説する

〇ミクロの精読

・センテンスごとに正確性を伴わせて意味理解が出来るか、発問→解説する。その際、センテンスの特徴・構造にも注意する

・省略については、どのような単語、句、センテンスが省略されているのか、またなぜ省略が生じているのか、発問→解説する。その際、英語が低文脈文化の言語と

言われるのに対して、日本語は高文脈文化の言語と言われる点にも注意する
・各種待遇表現・会話表現についても、時間が許す範囲で説明する

②分析例

『みんなの日本語 初級 2』28 課の「本冊」“会話”について、以下の問いに答えてください。

Cf.音声「minna_shokyu_2_007.mp3」
https://www.3anet.co.jp/np/resrcs/240020/

・Q1.＜マクロ＞この会話のコミュニケーションタスクについて、小川さんの立場から説明してください。

・Q2.＜マクロ＞小川さんの会話の組み立てについて、以下の説明の空欄を埋めてください。

会話の組み立て：

切り出す
a（　　）を説明する
b（　　）を説明する
頼む
c（　　）して再度頼む

・Q3.＜ミクロ＞5 つ目の小川さんのセリフですが、どのような文が省略されていますか。既習の文法形式を組み合わせて、答えてください。

・Q4.＜ミクロ＞ミラーさんは小川さんの頼みに対して、省略を多用して断っています。その理由について、ミラーさんの会話の組み立てについて触れながら、説明

してください。目的→手段の順に説明してください。

---

③タスク型の会話練習の作成

〇良い設定の条件

・遭遇頻度の高い場面設定×応用可能性が高いタスク設定

・受講生が主体的に会話を展開していく設定

・ひとまとまりのタスク設定

・(出来れば) ターゲットグラマー (＝当該課で新出の文法形式) を含んだターゲットセンテンスを使って、メインのミニタスクを行う設定

タスク：

ミニタスク（サブ）

ミニタスク（メイン）: ターゲットグラマーを含んだターゲットセンテンス

ミニタスク（サブ）

ミニタスク（サブ）

ミニタスク（サブ）

・ターゲットグラマーを含んだターゲットセンテンスを使うことに必然性がある設定

→例えば 26 課の場合、文法形式「普通形＋後続句んです」を使うことに必然性がある場面×タスクかといったイメージ。当該ターゲットグラマーを使う場合と使わない場合の違いをシャープに体感できる設定が理想

〇作成例@14 課

ｉ）設定

・場面：

ホテルに宿泊している。ホテルのワイファイを使いたいが、パスワードが分からない

・タスク：

フロントに電話して、パスワードを教えてもらう

（必要な情報を教えてもらう）

・会話の組み立て：

電話する
状況・理由を説明する
必要な情報を教えて欲しいと依頼する
礼を述べる
情報を確認する
終話する

ii）モデルダイアログ

A　はい、フロントです。
B　すみません。
ワイファイを　使いたいですが、パスワードが　わかりません。
教えて　ください。
A　かしこまりました。
パスワードは　123456 です。
B　ありがとうございます。
123456 ですね。
A　はい、そうです。
*ログインできましたか。
B　はい、*ログインできました！
A　よかったです。
B　ありがとうございました。
A　ありがとうございました。*失礼いたします。

*：未習の文法形式を含む。語彙リストで会話表現として提示する

〇作成練習@17 課

以下の設定を基に、17 課で扱う文法形式を使ってモデルダイアログを作成してください。尚、語彙と助詞については、1～16 課で扱っているものに限りません。未習の文法形式を使いたい場合は、語彙リストで会話表現として提示してください。

i）設定

・場面：

定時になったので帰宅の準備をしている。同僚の A さんに、この後一緒に飲みに行かないかと誘われた

・タスク：
　　必要性があることを述べて誘いを断る

・会話の組み立て：
　　礼を述べる
　　必要性があることを述べて誘いを断る
　　謝る
　　別日を提示して相手に配慮する
　　その日は当該必要性があることをする必要がないことを述べる

ii）モデルダイアログ
A　　XXX
B　　YYY
A　　XXX
B　　YYY

３.【PR】「教えるプロ」としてのベーシック＜2か月速習ゼミ＞

プロフェッショナル層を納得させるプライベートレッスンを出来るようになりたい方、「教えるプロ」としてのベーシックを2カ月で速習しませんか。

最大10名の少人数ゼミで、N5レベルの教材分析、文法分析、会話分析、レッスン設計のスキルを身に付けます。ゼミ形式のため、毎回発言を求められる緊張感の中、アウトプットベースで密度の濃い学びが可能です。

また1コマ50分（＝実践25分＋フィードバック25分）の模擬授業を、全員2コマ必須としています。すぐに案件を受注するための実践力を養えます。

詳細については、2027年1月上旬の告知を予定しています。本「選考ガイド」または「募集要項」をご確認ください。

●概要（仮）
〇内容
・教材分析

・文法分析
・会話分析
・タスク型の会話練習の作成
・模擬授業

〇形式
・オンラインゼミ：定員最大 10 名

〇使用テキスト・参考書
・『みんなの日本語 初級 1』「本冊」（第 2 版）
https://amzn.asia/d/07TXGAps
・『みんなの日本語 初級 1』「教え方の手引き」（第 2 版）
https://amzn.asia/d/0j1CDYu2
・『みんなの日本語 初級 1』「翻訳・文法解説 英語版」（第 2 版）
https://amzn.asia/d/0jfadYKa
・『考えて、解いて、学ぶ　日本語教育の文法』
https://amzn.asia/d/0iVZQVUw
・『初級　日本語文法と教え方のポイント』
https://amzn.asia/d/0acC8RYj

〇スケジュール
・2027 年 2～3 月開講：全 30 コマ（1 コマ 50 分）。週当たり 4～6 コマペース想定

〇受講料
・240,000 円＋消費税（テキスト・参考書代は含まず）

〇その他
・修了生の非常勤講師への採用を保証するものではありません
・アウトプットベースでの進行となるため、それなりの準備を前提とします
・英語力は問いませんが、模擬授業は間接法で行うものとします
・毎回のゼミは録画→一定期間閲覧出来るようにします

４.「教えるプロ」としてのベーシック＜解答＞
（１）文法分析
①活用形の体系

・Q1.

---

a：4	f：14	k：8
b：20	g：8	l：1
c：18	h：12	m：12
d：17	i：8	n：16
e：19	j：16	

→（ポイント）
活用形の体系を抑えておくのは基本。活用形の受容・産出が自動化されていない場合、導入課をその場で確認するようにする。どの課でどの文法形式が導入されているか、大まかにでも抑えておきたい

Cf1.『考えて、解いて、学ぶ　日本語教育の文法』（以下『原沢本』）付録・P164-P165・P161
Cf2.「教え方の手引き 1」（以下「手引き 1」）P11

---

②日本語文の特徴・構造
〇単文
・Q1.＜N5＞成分名

---

a：主語兼主題
b：目的語
c：修飾語
d：述語

→（ポイント 1）
受講生に初見の文の構造を自分で分析出来る状態を作りたい

→（ポイント 2）
『みんなの日本語 初級 1』9 課で扱う所有文の文型「N1 に　N2 が　います/あります」と、10 課で扱う存在文の文型「N1 に　N2 が　います/あります」では、主語が異なる点に注意。所有文はニ格、存在文はガ格で表される

Cf1.『原沢本』第 1 章・ P2-P4

Cf2.『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』P253

・Q2.＜N5＞助詞の用法と文型

---

e：手段・方法
f：N を　読む

→（ポイント）
述語になる品詞は共起する助詞とセットで使える状態を作りたい。その際、文の必須成分と述語の組み合わせ、文型という概念をヒントにする

Cf1.「手引き 1」7 課・P72-P73
Cf2.『原沢本』第 1 章・P9・P2-P6

・Q3.＜N5＞主題化

---

g：高橋さんが　もう　メールを　送りましたか。

→（ポイント）
主題化は英語話者にとって分かりにくい現象。初めは主語が主題化するケースから扱うが、文の成分またはその一部が主題化するケースを扱う際は、元の文からどのように主題化が生じているのか、板書で示すようにする。読点による助詞の省略にも注意

Cf1.「手引き 1」7 課・P79・17 課・P154-P155
Cf2.『原沢本』第 2 章・P15-P28・第 7 章・P99

・Q4.＜N5＞省略

---

h：パソコンの　モニターは　あそこに　あります。

（元の文からの変遷）
パソコンの　モニターは　あそこに　あります。：存在文@10 課

パソコンの　モニターは　あそこです。: 述語の省略（うなぎ文）@3 課
あそこです。: 省略

→（ポイント）
省略も英語話者にとっては分かりにくい現象。元の文からの変遷を板書で示すようにする。この場合、うなぎ文となっている点にも注意する。名詞文は「N1 は　N です」と N1＝N2（指定文）または N1⊂N2（措定文）の関係になるのが原則である一方、うなぎ文は N1≠N2 の関係となっている点が英語話者には難しい。英語話者の視点で何が難しいのか、常に考える習慣を持ちたい

Cf2.『原沢本』特別編・P148
―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

・Q5.＜N4＞述語の組み立て
―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

i：2

（組み立て）
予約して　おきます：「V て形＋後続句おきます」@30 課
予約して　おいて：後続句おきます＝V ます形＋ます→V て形
予約して　おいて＋くれます：＋「V て形＋後続句くれます」@24 課
予約して　おいて＋くれる：後続句くれます＝V ます形＋ます→V 普通形・非過去肯定形

→（ポイント 1）
既習の文法形式が複数組み合わさっている場合、正確性を伴わせた意味理解が出来るか発問→解説する。特に述語の組み立てについては、板書で示すようにする

→（ポイント 2）
動詞「行く」のます形は「行き」、ない形は「行か」となる。ます形＋ますが「行きます」、ない形＋ないが「行かない」となる。後続句という語や普通形と普通体の違いにも注意したい。用語の使用に当たっては、必ず定義を確認する習慣を持ちたい

Cf1.「手引き 1」13 課・P123・17 課・P151
Cf2.「手引き 1」P10-P11
―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

〇複文
・Q6.＜N4＞従属節
―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

j：3

＜＜雨が　降ったら＞　危ないですから＞、＜山へ　行くの＞は　止めましょう。

＜雨が　降ったら＞：副詞節・条件節@25 課
＜＜雨が　降ったら＞　危ないですから＞：副詞節・原因・理由節@9 課
＜山へ　行くの＞：補足節・名詞節@38 課

→（ポイント）
複文の構造を捉えるのは簡単ではない。板書で構造を示すと共に、節の分類についても、用語を導入→説明するようにする

Cf.『原沢本』第 8 章・P113-P127
―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

③新出の文法形式と既習の文法形式との違い
・Q1.＜N4/N5＞「V て形＋後続句います」
―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

a：31
b：28
c：15
d：14

→（ポイント）
見た目の形式は同じだが意味用法が異なる。英語話者にとっては難しい。文法カテゴリー・アスペクトに分類される文法形式

Cf.『考えて、解いて、学ぶ　日本語教育の文法』第 6 章・P83・P84-P87
―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

・Q2.＜N5＞ニュアンスの違い
―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

A1 が夫に働きかけて恩恵を得たというニュアンスになるのに対して、A2 は夫が自分から進んで恩恵を与える行為をしたというニュアンスになる。

→（ポイント）
それぞれの主語に注目すると分かりやすい。文法カテゴリー・ヴォイスに分類される文法形式

Cf1.「手引き 1」24 課・P203
Cf2.『原沢本』第 4 章・P57-P59
―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

・Q3.＜N4＞ニュアンスの違い
―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

B1 が直接的な理由説明になっているのに対して、B2 は状況説明が転じて、間接的な理由説明になっている。結果、B2 の方が、丁寧で柔らかい印象になる。

→（ポイント）
26 課で扱う文法形式「普通形＋後続句んです」は、文法カテゴリー・ムードに分類され、前提・状況について説明したいという話し手の気持ちを反映する

Cf.『原沢本』第 8 章・P99・P104-P105
―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

・Q4.＜N4＞誤用
―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

これは、「天気予報によると、雨が降るそうです。」の誤りであると考えらえる。

『みんなの日本語 初級 2』で扱う「～そうです」には、伝聞の用法と様態の用法がある。ここでは、「天気予報によると」と、話し手がほかから得た情報源を示しているため、伝聞の意味で使っていると考えらえる。この場合、普通形接続となる点に注意が必要である。

一方、「～そうです」を様態の意味で使う場合は、話し手が主として視覚的に捉えた情報を基に推量していることが前提になる。そのためここでは、「降りそうです」を様態の意味で捉えることはできない。尚、様態の用法で「～そうです」を使う場合、ます形接続となる。

『みん日初級』では、前者は47課、後者は43課で導入される。

Cf.「手引き2」47課・P181-P182・43課・P152-P154

---

④英語文にならないニュアンスの違い

いずれも相手の状況を確認するセンテンス。A1 は客観的な事柄のみを尋ねているのに対して、A2は説明して欲しいという話し手の気持ちが反映しており、転じて心配しているというニュアンスを帯びている。

（比較）
どうしまたしたか：コト（客観的な事柄）
どうしたんですか：コト＋ムード（その事柄に対する話者の気持ちや態度）

→（ポイント）
英語文ではいずれも「What's the matter?」となり、英語話者にとっては理解が難しい。文法形式「普通形＋後続句んです」は、文法カテゴリー・ムードに分類され、前提・状況について説明したいという話し手の気持ちを反映する。ここでは疑問文になっているため、説明して欲しいという話し手の気持ちを反映している。

Cf.『原沢本』第8章・P99・P104-P105・第2章・P16

---

⑤出来るようになること

A：人の意志や予定、習慣について述べることが出来るようになる。

木下さんは　金曜日の　夜　バーに　行きます。(意志・予定)
木下さんは　金曜日の　夜　バーに　行きます。(習慣)

Cf.「英語版1」4課

B：過去の事物の性質・状態について述べることが出来るようになる。またそこか

ら、話し手が経験した事物の感想・印象について述べることが出来るようになる。

新幹線は　とても　速かった。(事物の状態・性質)
新幹線は　とても　速かった。(事物の感想・印象)

→(ポイント1)
ターゲットグラマー(当該課で新出の文法形式)を含むターゲットセンテンスを使って、どのような場面で何が出来るようになるのか、言語化しておく

→(ポイント2)
「手引き」各課冒頭の“学習目標”をよく読むようにする。また「本冊」“練習C”のミニダイアログをよく読んで、どのような場面でどのようなコミュニケーションミニタスクを練習するのか、言語化しておくようにする

→(ポイント3)
会話スキル向上のためのレッスンでは、センテンス(「本冊」“練習B”)→場面×コミュニケーションミニタスク(同“練習C”)→場面×コミュニケーションタスク(同“会話”)の順に、流暢性・正確性を伴わせて産出出来る状態を作っていく

Cf1.「手引き1」4課・P52-P53
Cf2.『原沢本』特別編・P134
---

(2)会話分析
②分析例
・Q1.<マクロ>タスク

(背景と理由を説明して)頼む

・Q2.<マクロ>会話の組み立て
---
a:背景
b:理由
c:譲歩

・Q3.＜ミクロ＞省略

教えて　いただいても　大丈夫です

Cf.「手引き 1」: 17 課・P150・25 課・P209-P210
Cf.「手引き 2」: 26 課・P23

・Q4.＜ミクロ＞省略

依頼を断ることによって、小川さんとの関係性が悪化しないように配慮しているため。そのためにまず、理由説明→結論の順番で自分の考えを伝えている。次に、結論を省略、文脈から伝えることで、婉曲的に自分の考えを伝えている。

→（ポイント）
目的（Why）→手段（How）の順に説明する。プロフェッショナル層を納得させる説明力を持ちたい

Cf.（参考）『言語化大全』
https://amzn.asia/d/0gBHpbZl

---

③タスクプラクティスの作成
〇作成練習@17 課
ⅱ）モデルダイアログ

A　　B さん、今晩　飲みに　行きませんか。
B　　ありがとうございます！
　　すみません、今日は　日本語の　レッスンが　ありますから、
　　早く　会社を　出なければ　なりません。ごめんなさい。
A　　そうですか。わかりました。
　　明日は　どうですか。
B　　すみません、実は　今週　彼女が　家に　来て　いますから、
　　明日も　早く　帰らなければ　なりません。

　　ほんとうに　ごめんなさい。
A　　わかりました。気に　しないで　ください。
B　　A さん、来週は　どうですか。
　　来週は、彼女が　帰りますから、早く　帰らなくても　いいです。
　　日本語の　レッスンも　ありません。
A　　そうですか。じゃあ、来週　行きましょう！
　　お店は　予約しますね。
B　　ありがとうございます！
―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

以上